

平成27年度 第 21 回 数理分子生命理学セミナー

日時： 平成 27 年 11 月 25 日 (水) 12:50～

場所： 理学部 E209 講義室

講師： 高橋 俊一先生 (基礎生物学研究所・ 准教授)

演題： サンゴと藻類の共生関係の成立と破綻

要旨： 造礁サンゴは渦鞭毛藻の一種の褐虫藻 (*Symbiodinium*) を細胞内に共生させており、生育に必要なエネルギーのほとんどを褐虫藻 (光合成産物) に依存している。サンゴと褐虫藻の共生関係は高温ストレスに弱く、海水温が上昇すると共生関係が崩れ、サンゴの白化が起こる。地球温暖化に伴う海水温の上昇により、サンゴの白化の規模と頻度が増えており、サンゴ礁生態系の存続が危惧されている。私達は、白化 (共生関係の破綻) がどのように起こるのかという疑問を持ち研究を続けている。研究を続けるうちに、共生関係の破綻を理解するには、共生機構を理解する必要がある、最近から共生関係の成立に関する研究もはじめている。今回の講演では、サンゴと褐虫藻の共生がどのように成立し、また、高温ストレス下でどのように破綻するのか、これまでの私の研究と今後の課題を紹介させていただく。

数理分子生命理学セミナー世話人 島田 裕士 (内線 7450)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です